

奈良PHP友の会 12月例会の報告です

今年最後の例会、3つのテーマを全員で楽しくおしゃべりしました

- 👉 日時12月6日(土)13時30分から16時30分 👉 場所:奈良県女性センター
👉 内容:①会員文集2025を読む ②PHP誌12月号の読書感想 ③一年後の私への手紙
👉 出席者:12名参加 😊 12月入会のTさん親子参加されました

①会員文集2025を読む

奈良から、10名が投稿しました
心に残る記事を紹介しあいました



- P6「主人に感謝の気持ちを伝えたい」 Aさん
御主人が亡くなって三年半。御主人の心配をよそに「今、人生を楽しんでいる。あなたのおかげ」と伝えたい
・元気な内に伝えたい言葉。でも言えない私・・・
- P29「言葉の力」 Hさん
言葉は大切。何気ない言葉が人に影響を与える
松下幸之助さんは、心に残る言葉を残している
・日本語学校で外人に日本語を教えている
「お疲れ様」は英語にない。大切にしたい日本の言葉
- P31「感動！母校を誇りに思った日」 Fさん
・母校の出雲の大社高校が夏の甲子園に出場
勝利校歌に涙！
・竹内まりやさんは、我が母校出身。テレビ番組で恩師と対談。懐かしさに涙・・・



「会員文集2026」原稿大募集中！
2025年12月31日(水)必着です！

②PHP誌12月号の読書感想



●裏表紙「心の声」

- ・自ら行動をおこし、何かをしたいということがなくなってきた。「現状維持」が精一杯・・・

●特集「捨てる」と人生が好転する

- ・なかなか捨てきれない。妻が3年前に亡くなった着物など何にも手をつけられない
- ・無理に「捨てる」必要はない。
年をとると段々と忘れていく・・・何がどこにあるか判らなくなる・・・

●栗山英樹の読書ノート

「ガルシアへの手紙」・・・1億人が読んだベストセラー

- ・購入して一気に読んだ。簡単なストーリーだが色々な言葉が散りばめられており、新鮮な感じ。

③一年後の私への手紙

●2024年12月に書いた自分宛の手紙を開封

- ・悩んでいた白内障の手術成功！新しい人生が見えてきた
- ・ゴルフ、安定して80台をキープ
- ・本年間購読数40冊目標。36冊に修正

